

平成25年度人事院政策評価結果

		政策所管部局	人材局
政 策	2 採用試験の適正な実施		
目 標	<p>(政策目標) 採用試験を公正かつ円滑・確実に実施する。</p> <p>(具体的取組) 平成24年度から新たな採用試験を実施したところであるが、その実施状況等を踏まえ、今年度の試験を適正に実施する。 また、受験申込みに当たり、インターネット申込みを拡大し、さらなる利便性及び効率性の向上を図る。 試験結果処理については、平成24年度の国家公務員採用総合職試験（大卒程度試験）において得点処理の誤りが発生したところであり、今年度の試験について、再発防止策に基づく確認も含め、処理を確実にを行う。</p>		
具体的取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受験申込者数は、総合職試験は平成24年度と比べて3.0%、一般職試験（大卒程度）は平成24年度と比べて9.6%減少した。 ・ 本年度から総合職試験及び一般職試験（大卒程度）については、インターネット申込みを原則とした。その結果、インターネット申込みの割合は、全体で93.9%（大学（大学院）卒業程度試験99.5%、高校卒業程度試験80.8%）となり、昨年度（87.4%）に比べ6.5ポイント増加した。 ・ 採用試験は年間21種類24回の試験を全国で実施している。そのうち、国土交通省に試験の実施を委託している航空保安大学校試験第1次試験の学科試験の宮崎市の会場において、国土交通省の職員が8名分の答案を紛失するという事態が生じ、国土交通省において受験者全員に対し個別に訪問し、謝罪した上で、後日、学科試験の再実施を行った。また、一般職試験（高卒者）第1次試験の適性試験において、福岡市の会場の一試験室で、「検査の説明」を受験者が読むための時間を所定どおり確保せず実施するという事態が生じ、当該試験室の受験者58名全員に謝罪した上で、試験当日、別の問題を用いて再度適性試験を行った。なお、合格者の決定に際しては、当該受験者及び他の受験者に配慮した対応を行った。 ・ 総合職試験の多肢選択式試験については、院卒者試験及び大卒程度試験の基礎能力試験並びに18の区分試験の専門試験の平均正答率が、大卒程度試験の1つの区分試験の専門試験を除き、能力の識別の観点から目安とする範囲内（40%～60%）に入っており、適正な試験問題が作成されていた。 しかしながら、記述式試験については、工学区分の専門試験の選択科目において、「行」を「列」と取り違えて表記する出題ミスが発生した。このため、当該選択科目を選択した受験者73名について、採点に当たり、試験の公平性の観点から、相応の対応処理を行った。 ・ 前年の試験結果処理における得点処理ミスへの対応のため、全試験において得点処理に関し二重のチェックを行った。 		
達成度の評価	<p>評語 D</p> <p>《理由》 採用試験の実施については、上記のようなミスがあったほかは、おおむね適正に実施できたものとするが、このようなミスが発生した以上、平成25年度における達成度の評価は、厳しい評価にとどまる。</p>		

測定指標（ある場合に記入）	
効率性・有効性の評価	<p>【効率性】 効率的であった 《理由》 インターネットによる受験申込割合の増加及び総合職試験・一般職試験（大卒程度）のインターネット申込みの原則化を踏まえ、紙媒体の受験案内の印刷部数の削減及び大学（大学院）卒業程度試験における受験票（圧着葉書）印刷の廃止により、予算執行の効率化を進めることができたことから、施策は効率的であった。</p> <hr/> <p>【有効性】 おおむね有効であった 《理由》 採用試験の実施上のミスなどはあったものの、採用内定者に関する各府省の肯定的な評価から、施策は総体としておおむね有効であった。</p>
今後の施策に反映させるべき事項	<p>採用試験実施業務全般に係るミスを未然に防止するため、委託機関や他府省からの試験係官に対して、採用試験事務の重要性を再認識させるよう、これまで以上に事前研修を十分に行う必要がある。また、採用試験の適正かつ確実な実施に対する職員の意識の徹底を図るとともに、委託試験の実施・支援体制の強化に取組み、採用試験の公正かつ円滑な実施を確保する。</p> <p>出題ミスについては、再発防止のための業務研修会を速やかに実施したところであるが、試験問題の確認体制を強化するなど、一層の再発防止策を講じて、適正な試験問題の作成を行う。</p>
有識者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 仕事上のミスは起こりうるものであるが、採用試験の答案を紛失するといったようなミスはあってはならない。ミスを犯した職員を処分することで終わるのではなく、なぜこのようなミスが生じたのかということをしかりと分析し、再発防止を徹底してほしい。 ○ 将来的には、大卒程度の試験だけでなく、高卒程度の試験についてもインターネットによる申込みを促進してはどうか。